



夏休みを終えて

生徒のみなさんにとって、この夏休みはどんなお休みだったでしょうか？ 1学期の終わりにお話したように、何かに挑戦できたでしょうか？ きっと皆さん一人ひとりにとって、それぞれ意味のある夏休みだったことと思います。

東京オリンピックから

夏休み前半の時期にオリンピックが開かれました。開催の賛否はありましたが、史上最多の金メダル数や多くの感動的な場面もありました。一番心に残ったのはアスリートがオリンピックにかける思いについてです。戦いの後のインタビューでは、あふれる思いに何度も接することができました。一つのこと打ち込むこと、挫折とそれを乗り越えること、1番と2番の意味、誰かを支えるということ、仲間と友情…などなどたくさん考えさせられました。

そのころ北東中では

オリンピックが開幕するのと同じ頃、北東中においても、どの部も全力で部活動に取り組んでいました。新チームで練習がスタートする中、陸上部、男女バドミントン部、サッカー部、男子ソフトテニス部、男子バスケットボール部は県大会に出場し、3年生を中心に思い切り活躍しました。結果としてはバスケットボール部は県3位、陸上部では2年生の渡邊天さん、1年生の芦澤美玖さん、新井凜花さんの3人が入賞しました。さらに渡邊さん、芦澤さんは関東大会にも出場し、他県の選手達と肩を並べ戦うことができました。素晴らしい成果です。

また文化部も猛暑の中、今度は自分たちの番と、二葉祭に向けてよく頑張っていました。



コロナ感染症の拡大

夏休み後半は残念なことにコロナ感染症が拡大し、様々な制限をお願いすることになってしまいました。「臨時特別協力要請」「蔓延防止等重点措置の適用」がなされ、学校においても部活動の見合わせ、生徒日直の中止、プレサマーテストの中止や修学旅行の延期などいくつも“ストップ”をする事態となりました。さらに2週間の分散登校もお願いしなければなりません。正直なところ、昨年度の苦しい1年間が頭をよぎりました。

現在流行している変異株は大変感染力が強いと言われ、特に10歳代への感染が懸念されています。県内感染者の約1割が小中学生という話もあり、2学期冒頭から1段、2段とギアを上げた感染症対策を進めていかなければなりません。一人ひとりのみなさんが一層意識を高くもち、最大限注意しながら学校生活を送るようにしてください。

また、いつ誰が感染してもおかしくない状況です。万一仲間の誰かが罹患しても責めたり差別したりということが決してないよう改めてお願いします。

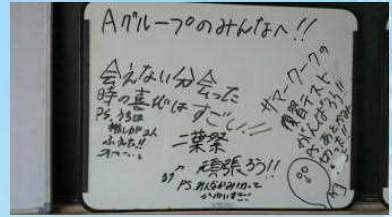
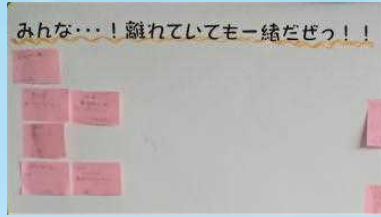
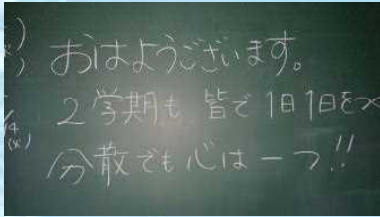
励ましてくれるもの

そんな夏休み後半でしたが、前を向いて頑張らなければと励ましてくれるものがありました。例えば、2年生の農園、連日元気で大きな野菜が収穫されていました。美化委員会が植えてくれた玄関前の花々もそうです。 コロナ禍であってもなくても変わらずひたむきに生長する姿は、きちんと状況を見つめ、考え、精一杯努力しろと語りかけられているような気持ちになりました。



●●● それでも“挑戦”の2学期に！ ●●●

A,Bの2グループに分かれての分散登校が始まりました。玄関を入るときには検温、カードの確認、手指消毒をしてもらうなど、これまで以上に感染症対策に留意する中、半分の生徒しかいない教室は少しさびしさを感じましたが、無事始業式を迎えることができました。そんな中、心が温くなる2年生のちょっとした取り組みもありました。



2学期への期待！

2学期は1年間の中で最も力をつけ成長できる学期です。コロナ禍ではありますが、二葉祭、新人戦、生徒会役員選挙など大きな行事があります。また、3年生は修学旅行をはじめ、校長会テストや進路相談など、進路関係の行事も次々とあります。

これから始まる、そんな2学期にむけて、みなさんをお願いしたいのは、『挑戦』です。1学期にも話したこのことについて、コロナ禍にはありますがあらためてお願いしたいと思います。なぜ繰り返し皆さんに同じことを話すかというと、人が成長し、人がつくられるタイミングは、心が動いたその時にあると思うからです。普段の日常の中にもたくさん学びはありますが、それは意識しないうちに自分のベースに静かに積み重なっていくようなものです。強く心が揺さぶられたとき、追い込んで物事を考えたとき、真剣に取り組んで何かにぶつかったりそれを乗り越えたりしたとき、人は成長できるのだと思います。それら感動や達成感を得るためには『挑戦』が必要だからです。皆さんには挑戦する人であってほしいと強く願っています。

コロナ禍の中スタートする2学期、学校生活への制限があります。次の大切なものに向けての我慢もお願いします。しかし常に前を向いて挑んでほしいと思います。大きな目標でなくても例えば毎朝10人と明るく挨拶を交わすといったものでもいいと思います。2学期に『挑戦』することを考えてみてください。

時間を大切にすること

令和3年度はまだ3分の2が残っているのですが、あと何日、学校に来られるのでしょうか。1、2年生は129日、3年生は119日です。1年間の中で最も長い2学期ですが、当初の予定から6日減って77日しかありません。

夏休み中に講演会で「人生は何かの本番があってそのために準備の毎日を送るのではない。毎日が本番だ」という話をききました。例えば高校受験という本番のために、毎日準備の勉強をしているかのように一見思えますが、実は一日一日、一時一時のその瞬間が人生そのものであり、自分を形づくる勝負の瞬間だということです。

2学期の77日、毎日のその瞬間、今のあなたが未来のあなたをつくっています。一時一時を大切に、挑戦して勝負してほしい。期待しています。2学期、自分の成長に向けて気持ちを新たに頑張っていきましょう。

2学期の主な予定 (R3.8.30現在)

- 分散登校 8月27日~9月10日 ※30日(月)より給食を開始
- 部活動・放課後の各種活動中止 9月12日(日)まで
※下校完了【8/30・31、9/3~10】15:50 【9/1・2】14:55
- 3年生サマーテスト 1・2年生夏休み明けテスト 9月14日(火)
- 二葉祭 体育部門 9月24日(金) 文化部門 11月12日(金)
- 中間テスト 3年生 10月4日(月) 1・2年生 10月15日(金)
- 甲府市新人体育大会 10月8日(金)・9日(土)
- 3年生修学旅行 10月29日(金)・30日(土)で調整中

「失ったものを数える な、残されたものを最大限生かせ」

ルードウィヒ・グットマン博士
“パラリンピックの父”と呼ばれるイギリスの医師
(1899~1980)
コロナ禍の今、特に響いてくる言葉です...

